

令和7年度 恵庭市学童クラブ自己チェックシート

学童クラブ名： 柏第2学童クラブ

＜自己チェックの進め方＞

- ①各学童クラブ単位で、運営の内容について確認します。
 - ②各チェック項目について、育成支援の記録を見ながら振り返ってください。
 - ③その際、別紙の自己チェックリストにある「評価の着眼点」を参考にします。あわせて、運営指針解説書（厚生労働省作成）も参考になります。
 - ④各チェック項目を振り返った結果は、この自己チェックシートに記載します。
 「○：できている（評価の着眼点の事項が全てできている）」、「△：一部できている（評価の着眼点の事項が一部できている）」、「×：できていない（評価の着眼点の事項がほとんどできていない）」といった三段階で評価してください。
 評価の対象に当てはまらない場合は、「—：該当しない（評価の対象に当てはまらない）」を入力してください。
 - ⑤また、そうした結果のみならず、そうした結論に至った理由等をコメント欄に記載してください。
 職員間で評価結果や気づき等を共有する際に役立ちます。
- ※チェック項目のうち黄色のセルについては、学童クラブの運営主体である学校法人等の責任者（学童クラブ担当者）が回答し、各学童クラブへ

I 運営指針第1章、第2章、第7章に対応する項目

大区分	中区分	小区分	チェック項目	結果	コメント
第1章 総則	1. 趣旨		○「放課後児童クラブ運営指針」の趣旨を理解している。	○	概ね理解している
	2. 放課後児童健全育成事業（学童クラブ）の役割		○学童クラブの役割を理解している。	○	概ね理解しその役割を果たせるよう努めている。
	3. 学童クラブにおける育成支援の基本	(1)学童クラブにおける育成支援	○学童クラブにおける育成支援の目的を理解している。	○	学校、家庭とは違う学童クラブの役割、目的を理解し子どもが安心して過ごす場として提供できるよう努めている。
		(2)保護者及び関係機関との連携	○保護者や学校等の関係機関と連携している。	○	保護者とはお迎えの際に情報共有をしたり、アプリを使って連絡し合える。学校とは6月に児童理解の場を設け、それ以外でも連絡や会話をするように努めている。
		(3)学童クラブ支援員等の役割	○学童クラブ支援員及び補助員は、その役割を理解している。	○	日々子供の様子を話し合い情報を共有しながら支援している。
(4)学童クラブの社会的責任		○学童クラブの社会的責任を理解している。	○	概ね理解して取り組んでいる。	
第7章 職員の資質向上	1. 学童クラブの社会的責任と職場倫理	(1)社会的責任・職場倫理	○学童クラブは社会的信頼を得て育成支援に取り組み、学童クラブ支援員等は仕事を進める上での倫理を自覚し、育成支援の内容の向上に努めている。	○	学童クラブの支援員として責任ある言動や行動、対応を常日頃から心がけると同時に支援員同士でも注意しあっている。
		(2)法令遵守のための組織的取組	○学童クラブの運営主体は法令を遵守するとともに、すべての学童クラブ支援員等が職場倫理を自覚して職務に当たるよう組織的に取り組んでいる。	○	月に一度、全事業所が集まり会議を行い、情報共有や共通認識の場を設けている。
	2. 要望及び苦情への対応		○子ども及び保護者からの要望や苦情に、迅速に対応する仕組みを整えて対応している。	○	相談があった場合は迅速に対応している。支援員間での共有、運営主体にも相談、報告し対応してもらっている。
	3. 事業内容向上への取り組み	(1)職員集団のあり方	○学童クラブ支援員等は、事業内容の向上を目指す職員集団を形成するとともに、事業内容を向上させるように努めている。	○	支援員間、子供たちとも話し合いながら事業内容（日々の活動や行事）がより楽しくなるように努めている。
		(2)研修等	○学童クラブの運営主体は、学童クラブ支援員等の研修機会の確保や参加できる環境を整えている。	○	年に最低でも一度は研修に参加できるように全体に共有し、必要に応じてシフト体制を調整するなどしている。
		(3)運営内容の評価と改善	○学童クラブの運営主体は、子どもや保護者の意見を取り入れて自己評価を行い、その結果を公表し、事業内容の向上に生かしている。	○	市のアンケート結果をもとに、要望などにはできる範囲で改善するように心がけている。
第2章 事業の対象となる子どもの発達	1. 子どもの発達理解		○学童クラブ支援員等は、子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、育成支援を行っている。	○	支援員間で話し合ったり保護者や学校に相談しながら、子どもにとって良い対応を考え育成支援をしている。

II 運営指針第3章、第5章に対応する項目

大区分	中区分	小区分	チェック項目	結果	コメント	
第3章 学童クラブにおける育成支援の内容	1. 育成支援の内容	(1) 育成支援の内容	○ 育成支援の内容について理解している。	○	概ね理解し支援している。	
		(2) 育成支援の留意点	○ 育成支援の留意点を理解し、支援を行っている。	○	理解し支援できるように努めている。	
	2. 障害のある子どもへの対応	(1) 障害のある子どもの受入れの考え方	○ 障害のある子どもの受入れの考え方を理解し、可能な限り受入れに努めている。	○	理解して受け入れている。今年度は、対象児童がいない。	
		(2) 障害のある子どもの育成支援に当たった留意点	○ 障害のある子どもの育成支援に当たった留意点を理解し、育成支援を行っている。	○	理解している。今年度は対象児童がいない。	
	3. 特に配慮を必要とする子どもへの対応	(1) 児童虐待への対応	○ 児童虐待の早期発見の努力義務があることを理解し、保護者の不適切な養育や児童虐待が疑われる場合には、関係機関と連携し、適切に対応している。	○	理解している。今年度は対象児童がいない。	
		(2) 特別な支援を必要とする子どもへの対応	○ 家庭での養育について特別な支援が必要な子どもには、関係機関と連携して適切に支援を行っている。	○	今年度は対象とされる児童がいない。	
		(3) 特に配慮を必要とする子どもへの対応に当たった留意事項	○ 特に配慮を必要とする子どもへの対応に当たっては、プライバシーの保護や秘密保持に留意している。	○	プライバシーに関する情報については秘密保持に留意しながら対応している。	
	4. 保護者との連携	(1) 保護者との連絡	○ 各種連絡手段を活用して、子どもの出欠席、遊びや生活の様子について保護者と情報を共有している。	○	出欠アプリ、電話を活用している。子供の様子や行事に関してはお迎え時に話したり、アプリを利用して情報を共有している。	
		(2) 保護者からの相談への対応	○ 保護者と信頼関係を築き、相談に適切に対応している。	○	日頃から保護者とはコミュニケーションをとるよう心がけ、相談があった際には迅速な対応と運営主体にも報告、相談を心掛けている。	
		(3) 保護者及び保護者組織との連携	○ 保護者との協力関係を構築するとともに、保護者組織と連携している。	○	年間行事の計画、保護者会費の使い方などを保護者会と相談しながら連携して行っている。	
	5. 育成支援に含まれる職務内容と運営に関わる業務	(1) 育成支援に含まれる職務内容	○ 育成支援に係る職務を実施している。	○	保育や行事の計画、育成支援、振り返りなどを行っている。	
		(2) 運営に関わる業務	○ 運営に関わる業務を実施している。	○	会計、事務、施設の管理、点検などを行っている。	
	第5章 学校及び地域との関係	1. 学校との連携	(1) 学校との連携	○ 情報交換や情報共有、学校施設の利用等、学校との連携を図っている。	○	6月に柏小との児童理解の場を設けて頂いた。日頃からグラウンドを使用させてもらい、担任の先生と会った際には子供の話を聞いたりしている。
			(2) 学校との連携におけるプライバシーの保護	○ 学校との連携にあたって、個人情報や秘密保持について予め取り決めている。	×	取り決めはない。
2. 保育園、幼稚園等との連携		○ 情報交換や情報共有等、保育園・幼稚園等との連携を図っている。	×	今年度も交流はない。		
3. 地域、関係機関との連携		○ 地域組織や子どもに関わる関係機関等との連携を図っている。	△	組織や機関との連携はないが、ご近所との関わりでお世話になった際には子供たち、支援員みんな感謝を伝えている。		
4. 学校、公共施設(地区会館等)を活用して実施する学童クラブ		(1) 学校施設を活用して実施する学童クラブ	○ 学校施設を活用して学童クラブを実施する上での留意事項を理解し、適切に対応している。	-	当てはまらない。	
		(2) 地区会館等を活用して実施する学童クラブ	○ 地区会館等を活用して学童クラブを実施する上での留意事項を理解し、適切に対応している。	-	当てはまらない。	

III 運営指針第6章2に対応する項目

大区分	中区分	小区分		結果	コメント
第6章 施設及び設備、 衛生管理及び 安全対策	2. 衛生管理 及び安全対策	(1) 衛生管理	○ 日常の衛生管理を適切に行うとともに、感染症の発生時における対応方針を予め定めている。	○	日頃から手洗いを忘れないように声かけをしている。感染症発生時にはマニュアルに沿って対応している。
		(2) 事故やケガの防止 と対応	○ 事故やケガを防止するための対策を講じるとともに、事故やケガの発生時における対応方針を予め定めている。	○	事前にチェックをし、子供たちに声かけを徹底している。
		(3) 防災及び防犯対策	○ 防災や防犯に備えた対策・訓練等を日ごろから行っており、災害等の発生時における対応方針を予め定めている。	○	年に1回以上避難訓練を実施し、安全管理マニュアルの内容を確認している。
		(4) 来所及び帰宅時の 安全確保	○ 関係者と連携して、来所及び帰宅時の子どもの安全を確保している。	○	登会予定なのに登会しない子供については、学校に連絡をし身の安全を確保している。一人帰りの子供に対しては安全に帰るように声かけをしている。

IV 運営指針第4章、第6章1に対応する項目

大区分	中区分	小区分	チェック項目	結果	コメント
第6章 施設及び設備、 衛生管理及び 安全対策	1. 施設及 び設備	(1) 施設	○ 学童クラブとして求められる機能を備えた施設(専用区画)を有している。	○	基準以上の専用区画を有している。
		(2) 設備、備品等	○ 学童クラブとして求められる機能を満たすための設備や備品等を有している。	○	活動に必要な設備や備品は揃っている。
第4章 学童クラブの 運営	1. 職員体制	(1) 職員配置	○ 支援の単位ごとに2人以上の学童クラブ支援員を置いている。	○	特別支援がない為基本二人配置。
		(2) 育成支援の実施	○ 支援の単位ごとに育成支援を行っている。	○	単位ごとに支援を行ったうえで、地区合同での活動も行っている。
		(3) 学童クラブ支援員の 雇用形態	○ 学童クラブ支援員を長期的に安定した形態で雇用している。	○	安定した雇用ができるように運営している。
		(4) 勤務時間	○ 学童クラブ支援員等の勤務時間を、開所時間の前後に必要な時間を前提として設定している。	○	開設準備の時間や日々の記録作成の時間も含めて勤務時間としている。また勤務時間にできるような体制作りに勤めている。
	2. 子ども集団の規模(支援の単位)	○ 適切な子ども数の規模の範囲(おおむね40人以下)で運営している。	○	今年度は30名の定員に対して、現状16名の利用人数で運営している。	
	3. 開所時間及び開所日	○ 開所時間及び開所日を適切に設定している。	○	市の基準に従って開設できている。	
	4. 利用開始等に関わる留意事項	○ 利用開始や退所に関わる留意事項を理解し、適切に対応している。	○	新規で利用する児童に対しては、登会開始前に面談、説明を行い、スムーズに利用できるように対応している。	
	5. 運営主体	(1) 運営主体の要件	○ 安定した経営基盤と運営体制を有し、子どもの健全育成や地域の実情についての理解を十分に有する主体が、学童クラブを運営している。	○	安定した運営ができるよう努めている。
		(2) 運営上の留意事項	○ 学童クラブの運営主体は、設備運営基準に定められた運営上の留意事項を理解し、運営している。	○	学童クラブ業務マニュアルに従って各学童クラブが運営されるよう指導している。
	6. 労働環境整備	○ 学童クラブの運営主体は、学童クラブ支援員等の労働環境を適切に整備している。	○	支援員等の労働環境が安定するよう整備に努めている。	
	7. 適正な 会計管理 及び情報 公開	(1) 会計管理	○ 学童クラブの運営主体は、適正な会計管理を行っている。	○	市からの委託費や補助金について、適切に管理している。
(2) 情報公開		○ 学童クラブの運営主体は、会計処理や運営状況について情報公開している。	○	運営主体である学校法人の会議などで報告、また学童会議の際に支援員などにも情報共有している。	